

# 病害虫発生予察指導情報

## (キャベツ黒腐病、ブロッコリー黒腐病)

令和4年9月28日  
鳥取県病害虫防除所

### 1 情報の内容

9月26日現在、キャベツおよびブロッコリーにおいて、黒腐病の発生量が増加しています。今後の気象条件によっては発病が急増する恐れがありますので、ほ場をよく観察し、防除を徹底して下さい。

### 2 情報の根拠

- (1)キャベツにおいて、9月26日時点の現地巡回調査での本病発生ほ場率は100% (平年値28.0%)、平均発病株率は5.60 (平年値0.52)であり、平年に比べて発生量が多い。
- (2)ブロッコリーにおいて、9月26日時点の現地巡回調査での本病発生ほ場率は、85.7% (平年値51.4%)、平均発病株率は7.57 (平年値2.69)であり、平年に比べて発生量がやや多い。
- (3)本病の発病適温は15~30℃で、降雨が多いと発生しやすい。台風などの風雨や害虫の食害などにより葉に傷がつくことで発病を助長する。

### 3 防除上注意すべき事項

- (1)発生前の予防防除を行う。特に大雨や台風直後は、天候回復後できるだけ早く薬剤散布する。
- (2)害虫の食害痕は病原菌の侵入口となるため害虫防除を徹底する。
- (3)キャベツの防除薬剤は、カスガマイシン・銅水和剤(カスミンボルドー又は銅パーシン水和剤)1,000倍液、キノンドー水和剤40の500~800倍液、ヨネポン水和剤500倍液、Zボルドー500倍液、ナレート水和剤800倍液などを収穫前日数に注意して散布する。
- (4)ブロッコリーの防除薬剤は、カスガマイシン・銅水和剤(カスミンボルドー又は銅パーシン水和剤)1,000倍液、キノンドー水和剤40の800倍液、ヨネポン水和剤500倍液、Zボルドー500倍液などを収穫前日数に注意して散布する。



写真1 黒腐病罹病葉 (ブロッコリー)